

第4期登別市地域福祉実践計画 「きずな」概要版



2022－2026



16年の“きずな”を土台に描く、 このまちのこれから

市民主体の福祉のまちづくりを目指して、行政だけでは解決しにくい地域の生活課題を、地域福祉活動に日頃から取り組む方々で構成する「きずな推進委員会」や、プロジェクトチームにおいて協議・検討し、できることをまとめた「登別市地域福祉実践計画」。愛称は「きずな計画」です。

コロナ禍で迎えた策定。次の5か年へ希望を紡いだ軌跡と、その要点をまとめました。

きずなの意義と特徴

- (1) きずなは、市民が地域福祉の課題に向き合い推進する具体的な行動計画です。
- (2) きずなは、人権擁護を根幹に据え、市民個々の人間観、倫理観、生活観を共生と共存を目的とする福祉の視点で注視し、市民個々のライフスタイルを尊重しつつ、地域コミュニティを創造する計画です。
- (3) きずなは、生活圏域としての小学校区を基盤とした地域福祉実践計画であるとともに、全市民を対象とした地域福祉を推進する計画です。
- (4) きずなは、市民の主体的な参画により地域の福祉課題に対して積極的に問題解決に向かう市民の行動エネルギーを引き出すとともに、自治を重んじ協働化を実現する計画です。
- (5) きずなは、地域で生き暮らす一人ひとりに焦点をあて、決して孤立することなく、誰もが人間らしく生き生きと安心して暮らすために、一人ひとりをしっかりと結び合い・支え合い・助け合って生きるための仕組みづくりの計画です。
- (6) きずなは、日常の暮らしの営みのあり方に焦点を当て、地域の人たちが交流するなかで地域や個人の問題を考え実践する場としての地域の福祉活動拠点を市民とともにつくる計画です。
- (7) きずなは、ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザインなどの理念を具現化し、実現に向けて推進する計画です。
- (8) きずなは、地域における行政と市民、そして社会福祉協議会との関係性を豊かに連動させて、協働のまちづくりを束ねるパートナーシップを確かに紡ぐ計画です。
- (9) きずなは、市民のいのちと暮らしを守るために、地域包括ケアシステムの確立と充実をめざし、地域を中心に保健・医療・福祉・介護等の関係機関・団体との連携及び連動化を進め、福祉でまちづくりを推進する計画です。
- (10) きずなは、社会福祉協議会、民生委員児童委員、町内会、医療法人、社会福祉法人、福祉事業所、NPO法人、ボランティア、福祉団体、企業等の関係機関が、お互いに地域福祉の振興のためのネットワークを構築・強化し共通理解をもって協働で問題解決にあたる計画です。
- (11) きずなは、福祉でまちづくりをめざし、市民の手によりつくられた熱いおもいに満ちた計画です。ぬくもりある人間味に溢れた市民主体の計画は、誰もが市民力を発揮することを自らに課して進めていく計画です。
- (12) きずなは、地球を救う最後の世代になるかも知れないという地球規模の課題に真摯に向き合い、SDGsに示された環境・貧困・紛争・教育・食料などの様々な課題に対し、福祉や教育、まちづくりという視点で、知恵を出し合い行動しなければならないことを訴え実践する計画です。
- (13) きずなは、2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年計画であり、第1期、第2期、第3期の計画の実践・評価を積み上げて、小学校区を中心に市民が共生社会の実現のために決意表明を記した計画です。

きずなの5つの基本目標

ひとりの小さな幸せを希望に紡ぐきずなでまちづくり



基本目標1

きずなを育て確かめる

福祉の意識と関心を高める取り組み

- ◆高める
福祉の関心を高める
- ◆学ぶ
学習の機会提供
- ◆深める
福祉の理解を深める
- ◆育てる
人づくりを進める

基本目標2

きずなを護り強める

支え合う地域をつくる取り組み

- ◆みとめあう
一人ひとりを大切にする
- ◆ふれあう
一人にさせない
- ◆仲良くする
交流を促進する
- ◆創る
地域の支え合いの仕組みをつくる

基本目標3

きずなを紡ぎ支える

困りごとを解決する取り組み

- ◆受け止める
困りごとを発見する
- ◆伝える
必要な情報を提供する
- ◆つなげる
適切なサービスに結び付ける
- ◆支える
必要なサービスを提供する

基本目標4

きずなを結び深め広げる

地域の協力体制をつくる取り組み

- ◆つながる
共に活動する
- ◆話し合う
住民同士で協議する
- ◆調べる
地域を調査する
- ◆求める
住みよいまちづくりを提言する

基本目標5

きずなを高め保障する

きずなの推進体制を確立する取り組み

- ◆ととのえる
住民主体の組織体制を確立する
- ◆募る
きずな推進の財源を確保する
- ◆確かめる
きずなの推進を管理する
- ◆強める
きずなの推進母体である社協の基盤を強化する

きずな推進委員名簿

2022年3月現在

順不同・敬称略 (★委員長、◎リーダー、○サブリーダー)

《登別小学校区》 ◎田畑恒義、○桶屋純一、○伊藤芳雄、中川信市、畠山基子、田代健二、須賀武郎、本田 宏、藤田 隆、田中康行、日野安信、吉岡政美、成田光男、勝間広靖

《幌別東小学校区》 ◎森 芳昭、○鳴海文昭、○田淵利男、竹中洋子、松原憲康、笹田貞良、杉尾直樹

《幌別小学校区》 ○竹中脩蔵、○山崎敏男、菅原千恵子、北澤晴幸、千葉一男

《幌別西小学校区》 ◎島田幸一、○村井寿行、○川本 修、太田 通、楠本賢一、内山雅義、木村俊子、小沢裕美子、宮地眞治、高林 一、木村 穰、石山典子、工藤章造、三浦忠夫、菊地 清

《青葉小学校区》 ★田淵純勝、○桑井孝子、○津川正博、吉田伸吾、堀尾政江、宇佐美裕彰、津村 進、大西拓哉、中山和恵、池上英彦、垣内 博、内田陽子、坂本大樹

《富岸小学校区》 ◎瀧川正義、○工藤保秋、○亀山秀一、木村純一、八重樫一男、山道春秋、袖山 功

《若草小学校区》 ◎南行雄、山田則子、名波俊昭、関 國男、中島康晴、安宅錦也、竹内 勉、高橋正子、西村美代子、境 幸子、星 康彦

《鷺別小学校区》 ◎中原義勝、○原田敬三、○竹内信子、○稲葉雅幸、雨洗康江、戸井 肇、鈴木信義、村井美保子、池田泰彦、堀澤正一、高橋 学、室谷 隆、小林靖親、廣瀬淑子、荒木政博、加藤征一、小田則子、足立知也

《専門委員会》 ◎田中秀治、○牧田 大、鈴木高士、永山雅一、斎藤正史、藤田修靖、田中恭介、安達陽子、星川光子、辻 勲、後藤裕之、渡邊由佳、佐藤大志、猪股博規、高橋芳恵、高橋良夫、今 順子

《計画策定プロジェクトチーム》 田淵純勝、田中秀治、瀧川正義、中原義勝

《アドバイザー》 鳥居一頼（きずな大使）

《オブザーバー》 安部直也（市社会福祉グループ総括主幹）、川村義一（市こども育成グループ総括主幹）、百貫正剛（市こども家庭グループ総括主幹）、佐藤拓也（市障がい福祉グループ総括主幹）、西川原邦彦（市高齢・介護グループ総括主幹）、下沢亮一（市健康長寿グループ総括主幹）、奥山幸恵（市市民サービスグループ総括主幹）、大越智輝（市市民協働グループ総括主幹）、宮林 浩（市総務グループ防災主幹）、近間聡史（市教育委員会総務グループ総括主幹）

※第3期登別市地域福祉計画との一体的な策定のため、市の関係部局にオブザーバーとして参画いただきました。



第4期全市きずな計画

1. きずなを育て確かめる～福祉の意識と関心を高める取り組み～

①きずな活動の推進

市民が主体的に取り組む福祉活動（きずな活動）を全市的に進めるほか、小学校区を単位とした活動、きずなを広める活動、感染症の状況下にあってもつながり続ける活動などを通し、ひとりの幸せを支え合うまちづくりを進めます。

②きずな共育（福祉教育）の推進

ともに支え合う地域社会の実現を目指し、福祉に関心を持ち地域福祉を支える市民を育てるため、福祉意識の醸成と啓発および人材の育成を行います。

③きずな（地域）の拠点づくり

住民をはじめとしたすべての関係者が役割を持ち、福祉活動に参加できる活動の創出、連携・連動・循環機能を備えた地域で相談を丸ごと受け止める場としての拠点づくりを、ともに支え合うまちづくりの実現に向けて推進します。

2. きずなを護り強める～支え合う地域をつくる取り組み～

④小地域ネットワーク活動の推進

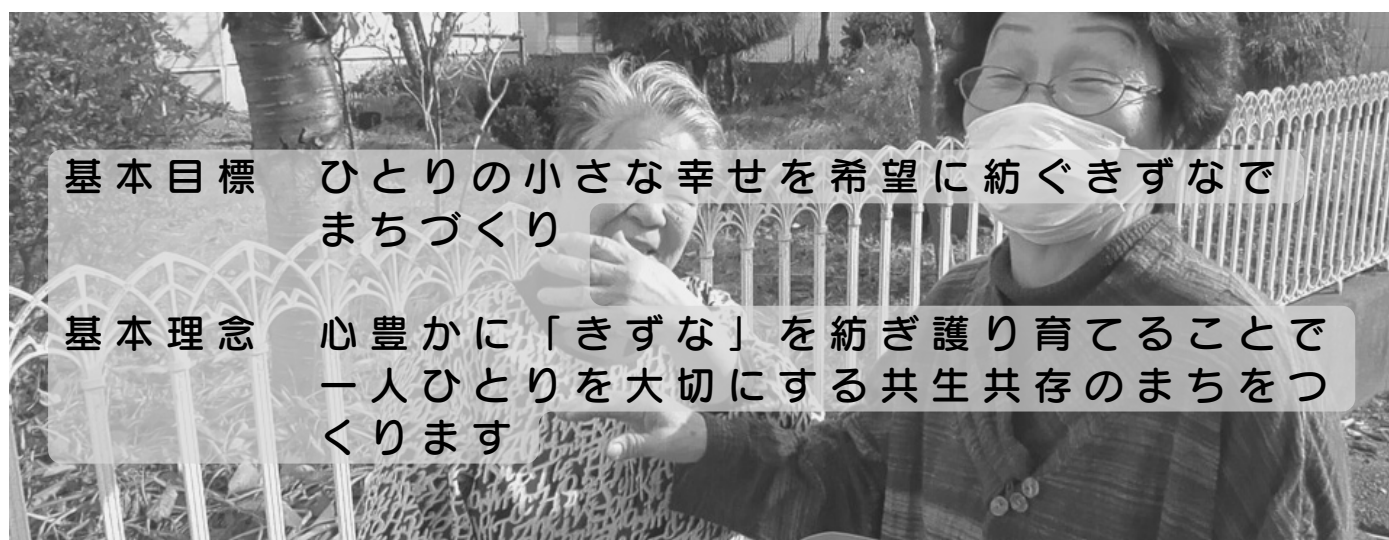
町内会単位での見守り活動や、地域をつなぐネットワークを構築し、住民同士での支え合い・助け合いを進めます。

⑤ともに生きる地域づくり

高齢や障がいなどで支援が必要とされる人も、自分のできることや得意なことを活かして地域社会に参加し、社会とつながりながら暮らし続けることができる地域づくりを目指します。

⑥災害時の支え合い活動の推進

市民・市・社協などの関係機関が連帯しながら、平常時から災害への備えの充実を進めます。



基本目標 ひとりの小さな幸せを希望に紡ぐきずなで
まちづくり

基本理念 心豊かに「きずな」を紡ぎ護り育てること
で一人ひとりを大切にする共生共存のまちを
つくりまします

3. きずなを紡ぎ支える～困りごとを解決する取り組み～

⑦孤立させない地域づくりの推進

複雑化した相談も受け止めることのできる総合相談窓口を、あらゆる関係機関との連携・連帯により強化します。

⑧安心して暮らし続けられる地域づくりの推進

住民主体の介護予防や、買い物支援・移動支援といった生活支援の取り組みを進め、住民同士で支え合うことのできる地域づくりを目指します。

4. きずなを結び深め広げる～地域の協力体制をつくる取り組み～

⑨ボランティアセンター機能の充実

ボランティア活動の調整や魅力の発信を行う「ボランティアセンター」の機能充実を図り、市内のボランティア団体やボランティア活動を支援します。

⑩身近な暮らしの情報ネットワークの推進

きずな計画に基づく活動や福祉活動を市民に発信するため、広報誌やホームページを活用し情報を発信します。Facebook（フェイスブック）やInstagram（インスタグラム）などのSNSも活用し、若い世代と情報を通しつながることのできる仕組みを整備します。

5. きずなを高め保障する～きずなの推進体制を確立する取り組み～

⑪社協の基盤強化 ⑫財政基盤整備 ⑬公的事業の実施・受託

⑭地域福祉を推進するための職員の配置と資質向上

⑮地域福祉実践計画の進捗管理と地域福祉計画との連帯

社協の強化発展計画
として
位置づけています

これらの取り組みを市で策定した第3期登別市地域福祉計画と連携して推進します



第4期校区きずな計画

登別小学校区

1) 福祉教育を通じた人材育成

登別中学校の生徒と地域住民が交流しながら自分の地域について学び合う「お茶の間会議」を開催し、多世代の交流と若い世代の育成を図ります。

2) 生活支援・買い物支援の仕組み

住民同士の支え合いにより、ちょっとした困りごとを解決する仕組みづくりを検討し、実施を目指します。

幌別東小学校区

1) 防災・防犯活動の推進

学校をはじめ地域一丸となつての避難訓練の実施など、もしもに備えた防災・防犯活動に取り組みます。

2) ゆめみ〜るとの連携

地域の居場所である地域食堂ゆめみ〜ると連携し、子どもから高齢者、障がいのある人など多様な住民と、幅広い活動を支援します。

幌別小学校区

1) 地域一丸となつての事業推進

「地域拠点丸ごと支え合い事業」など、校区内の活動を通し地域のさまざまな人や関係者がつながることを目指します。

2) 社会福祉法人との連携

校区内の社会福祉法人と連携しながら、鍵預かりサービス事業など地域で安心して生活できる取り組みの周知や充実を図ります。

幌別西小学校区

1) 福祉活動に関わる機会の充実

さまざまな人が日頃から福祉活動に関わり、世代間交流や魅力を確認できる機会の充実を図ります。

2) 地域の福祉を支える人材の発掘

新たな人材を発掘しながら、地域活動の活性化を目指します。



全校区共通

1. 各小中学校区におけるきずな活動の推進
2. 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進
3. 居場所・相談・つながりづくりの推進

青葉小中学校区

1) 地域のつながりづくりの強化

子どもの登下校時のあいさつ運動などを継続し、地域の中でのつながりづくりを強化します。

2) 防災活動を通じた地域づくり

防災避難訓練の実施などを通し、校区内の一体感を高め、災害に強い地域を目指します。

富岸小中学校区

1) 防災意識を高める取り組み

日頃の地域活動が防災にも直結していることを確認しながら、地域の防災意識を高めることを目指します。

2) 防災計画書の策定と定期訓練

地域の実情に合った効果的な防災計画書の策定と、定期的な防災訓練を実施します。

薔草小中学校区

1) 地域のつながり継続と強化

高齢者や登下校時の子どもの見守りなど、対象を限定しない地域でのつながりづくりを推進します。

2) 防災活動を通じたつながりづくり

災害時の避難が難しい人を避難訓練などの防災の取り組みを通して把握し、普段からつながり続ける仕組みづくりを目指します。

鷺別小中学校区

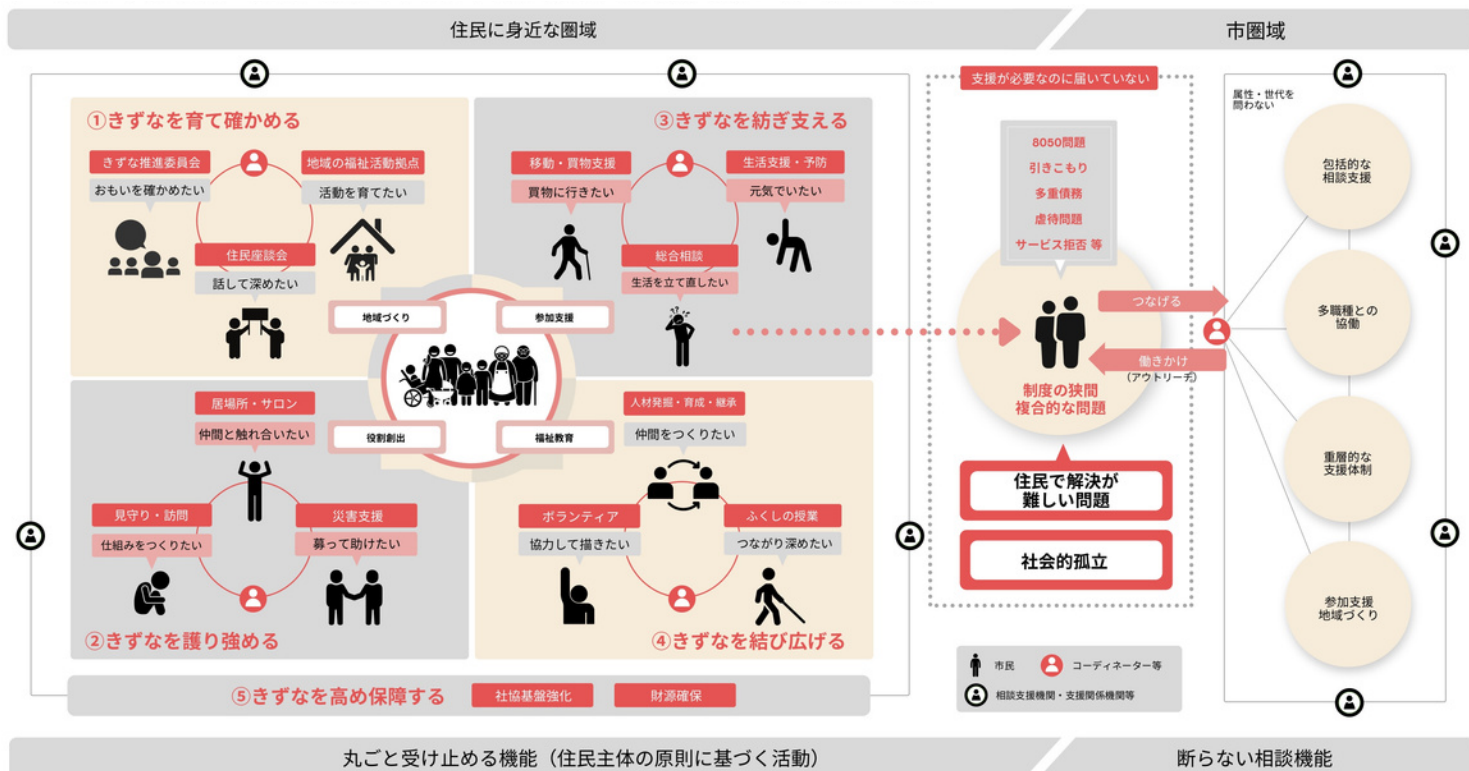
1) 子どもの健全育成の支援

登下校時の見守り活動や子育て支援活動を継続しながら、今後地域で必要な取り組みについて協議を進めます。

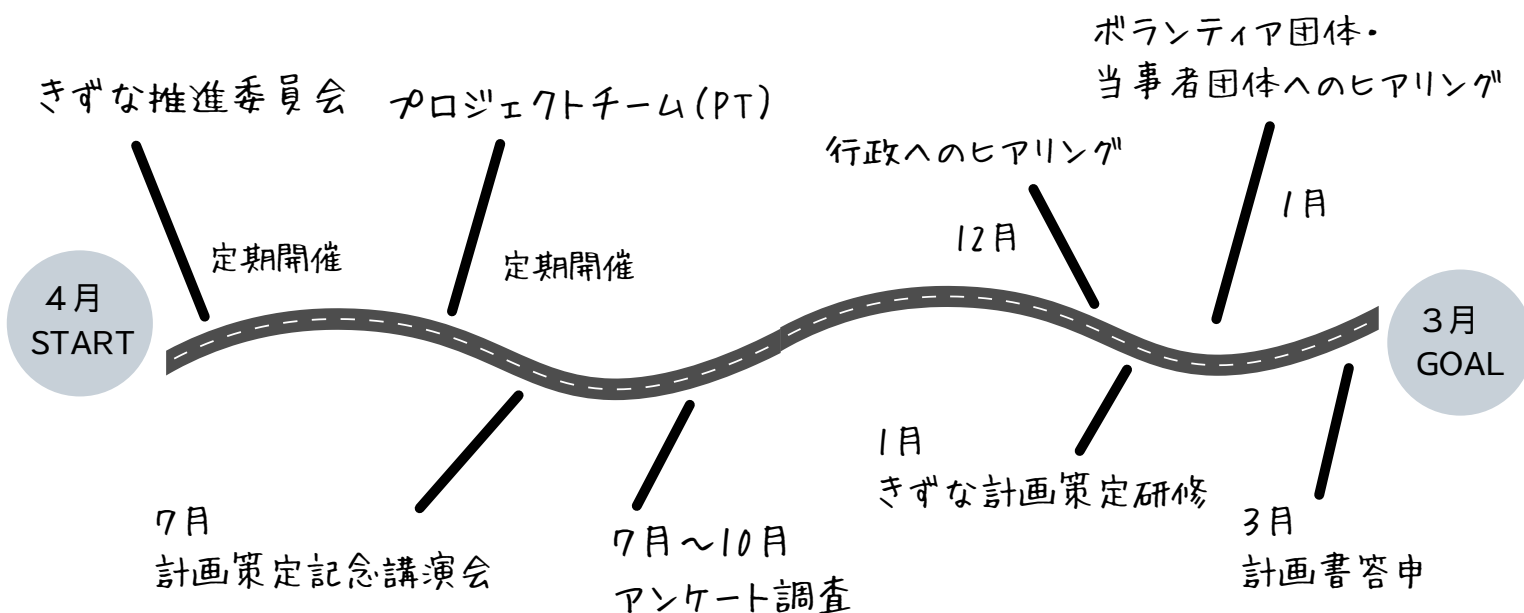
2) 生活支援・買い物支援の仕組み

住民同士の支え合いにより、ちょっとした困りごとを解決できる仕組みづくりを検討し、実施を目指します。

一人ひとりの生き方・暮らしを豊かにするための 第4期きずな活動の地域づくり（イメージ）



第4期きずな計画策定の軌跡



より詳しい内容は
登録社協ホームページへ

各種SNSもチェック！！



Facebook



Instagram



YouTube



この冊子は
赤い羽根共同募金の
支援を受け作成しています